

愛媛県学校農業クラブ連盟 第2回各種発表県大会 (平成31年1月16日(水)・17日(木))

Minamiuwa 青春! 食育!
high school ~農業科活動日記~



意見発表の部 分野Ⅱ類 農業科1年 小林未来 (一本松中学校出身)
分野Ⅲ類 農業科2年 橋本 弦 (御荘中学校出身)

プロジェクト発表の部 分野Ⅰ類
農業科1年 田中 綸 (津島中学校出身) 竹田真之 (御荘中学校出身)
小林未来 (一本松中学校出身) 土居萌々果 (一本松中学校出身)
田原優輝 (御荘中学校出身) 山本峻輔 (御荘中学校出身)

大洲青少年交流の家で行われた、愛媛県学校農業クラブ連盟第2回各種発表県大会に参加してきました。16日に行われた意見発表の部では、1年生の小林未来さんが「沖縄販売実習で学んだことを生かして」、2年生の橋本弦さんが「商い甲子園への挑戦」というタイトルで発表を行いました。2名とも農業科での販売実習を通して成長したことや学んだことを、自信を持って発表しました。その結果、2年生の橋本君が見事最優秀賞を受賞しました。意見発表での最優秀賞獲得は、本校初の快挙です。

17日に行われたプロジェクト発表の部では、1年生6名が「世界へ届け! 愛南ゴールド~PR活動の取組~」というタイトルで発表を行いました。本校がこれまで行ってきた愛南ゴールドのPR活動を紹介し、今後2020年の東京オリンピック・パラリンピックで愛南ゴールドを食材として提供をしたい! という夢を発表しました。1年生ながら堂々と発表を行い、優秀賞を受賞することができました。日々の学校での実習や、地域での取組が評価され、出場した生徒たちはもちろん、農業科生徒全員の自信になりました。今後も愛南町の特産品をPRするために、一生懸命頑張ります。

編集後記

「地域づくりは、コップ磨きと同じ」。昔、ある人に教えてもらった言葉を思い出しました。地域は、内からも外からも磨かないと光らない、そんな意味だったと思います。

今号の特集では、愛南町で活動する3人の地域おこし協力隊の皆さんを取り上げました。

外の視点を持って、地域の中で新しい風をおこそうとする3人の挑戦は続きます。町を磨き上げていく彼らもまた、キラリと輝いていました。

愛南町の柑橘と言えば生産量日本一を誇る愛南ゴールド(河内晩柑)が一番に思い浮かびますが、今回は清見を取材しました。御荘長月の丸永守さんが栽培する果樹は樹齢40年を超えているものもあり、その分、味が安定しているそうです。

先月取材した甘平も上品な甘さがある柑橘で、品種ごとに特徴があります。さまざまな柑橘を味わうことができる愛南町の環境に感謝せずにはいられません。

愛南町の世帯数と人口 平成31年2月1日現在

世帯数	10,314世帯 (-23世帯)	男	10,120人 (-17人)
人口	21,456人 (-29人)	女	11,336人 (-12人)

※ () 内は前月比

● 10年前 同月の人口 26,231人 ● 愛南町の高齢化率 42.3%

それいけ 愛南ぎょレンジャー



~ サツキのとりにこ ~



南宇和高校美術部による愛南ぎょレンジャーやなりしくんの4コマ漫画を掲載します。

制作: 南宇和高校美術部 武久 杏緒さん

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 TEL (0895) 72-1211 FAX (0895) 72-1214

<http://www.town.ainan.ehime.jp/>